

高校3年生まで医療費を無料に

日本共産党区議団が条例を提案

お金の心配ない医療保障を



小林おとみ区議

日本共産党区議団は、区議会第1回定例会に「子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正」条例を提案しました。現在、中学3年生まで所得制限なしで行われている医療費助成を、保護者に養育されている18歳までの子どもに拡大するものです。

2月17日の本会議で、提案者を代表して、小林おとみ議員が「義務教育を終えた子どもたちのほとんどが高校進学する中で、高校生をもつ家庭の経済的負担が大きくなっており、少なくともお金の心配をせずに医療を受けることができるようにするため、医療費助成の

拡大を図る必要があるため」と提案理由を述べました。

3月3日、本会議で日本共産党と無所属以外の反対で否決されました。

しかし、文教児童委員会では議案に反対した委員から「命を大切にすの施策だ」という意見が出されました。今後も議論していく必要があります。

子育てや教育の負担軽減を

高校生を持つ家庭からは、「高校生になったとたんにお金がたくさんかかる」「通学時の交通費が大変」「ケガや病気のときは体の心配

より先にお財布を見てしまう」「就学援助もなくなつて不安」などの声が寄せられています。

東京都日の出町では、高校生まで無料化を実現させ、今では75歳以上の医療費助成も実施しています。お金の心配のない医療保障をめざして、引き続き、みなさんと一緒に取り組みます。

板橋区2016年度予算案に対し予算修正を提案

2年連続過去最大規模となる板橋区の2016年度当初予算案に対し、日本共産党区議団は約5億円の予算修正提案を行いました。これは、予算案総額2000億円の1%未満です。主な内容は以下の通りです。財源は、基金の一部を取り崩して活用します。

公共施設のあり方についての区民検討協議会開催	56,148千円
いこいの家のお風呂を2回から4回へ復活	6,861千円
敬老入浴事業の対象年齢下げと自己負担据え置き	83,469千円
要介護3以上の居宅介護者への支援金制度	182,649千円
75歳時の人間ドッグ受診料助成	113,859千円
小中学校入学お祝い支給事業	88,007千円
就学援助の対象項目拡大(PTA会費・生徒会費・クラブ費)	25,675千円
産後1カ月児及び産婦健診助成	28,571千円
中央図書館基本設計の凍結	△57,062千円



ご近所の名所 小豆沢水上バス乗り場

小豆沢4丁目にある船着場から(4月~11月限定)で毎月2回、水上バスが運行されています。2016年度は、4月13日(水)が初運航になります。スカイツリーなど下町の風景を眺めながら浅草や葛西臨海公園などに行くことができます。

※7月・11月は1回、8月は運航しません。
問い合わせ 東京水辺ライン03-5608-8869

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください。

2016年4月号(第30号)

発行責任者: 日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋 2-66-1 Tel 3579-2717

日本共産党板橋区議団

検索

ホームページをリニューアルしました!

高崎市の「まちななか商店 リニューアル助成」を視察

—店舗改装に100万円の支援—

区内の多くの商店が、スーパーやコンビニの進出で売上が伸びず、存亡の危機に喘いでいます。にぎわいのある商店街にするには今何が必要かを調査するため吉田豊明、竹内愛、山内えり各区議は1月28日、高崎市へ視察に行きました。

全国が注目する「まちななか商店リニューアル助成制度」。店舗改装費用の2分の1、上限100万円を補助するこの制度は、300軒の市内商店への聞き取り調査から始まりました。生の声を聞いての事業ですから、口コミでも広まり、当初予算1億円を10日で使い切るほどの人気。補正に次ぐ補正で増額。今や若い創業者だけでなく、古くからの商店も活気を取り戻しています。

板橋区は「基本計画2025」の中で「魅力ある個店の創出」を

打ち出しました。しかし、具体的な施策では、個店への支援の観点から抜け落ちたままです。区議団は、商店の生の声を聞き、支援の中心を個店支援に踏み込むことを求めて2016年度予算案審議に臨みます。



リニューアル助成を活用して入り口を改修したお店

高崎市を視察する吉田、山内、竹内区議（左より）



栄町保育園を視察する区議団

保育園がまだまだ足りない!!

2016年度保育園入所希望は約300人増

2月15日、2016年4月の保育所等入所第一次募集の結果が申込者へ通知されました。

保育施設への入園希望者は、4,039人で昨年の3,728人から311人増加しました。

申請結果の通知が届いた日、保育サービス課の電話は鳴りやま

ず、相談が相次ぎました。同日、共産党区議団控室にも、「職場復帰できると思っていたのに」「育休を取らなければよかったのか」など父母からの切実な声が寄せられています。

「認可園増やせ」の声を広げましょう

区は、待機児の発生を受けて、認可保育所を7カ所、小規模保

育所を4カ所の合計592人分の保育の受け皿を増やしてきました。しかし、保育園を希望する人数が増えて、特に1歳児で入園できなかつた声が多い傾向で、その多くが認可保育園を希望しています。まだまだ保育園が足りない状況が浮き彫りになっています。抜本的な量の拡大と

同時に、保育施設の充実、保育士の処遇改善も急務の課題です。

認可保育園の増設を求めて、世論と運動を広げましょう。区議団も実現めざして力を合わせてがんばります。



私^{HITORIGOTO}ヒトリゴト

私は3人の兄に囲まれて育った末娘。久しぶりに兄弟全員が実家（草加）に集

まったお正月。それぞれの近況報告を交し合いました。▼笑えない話は、中一の息子の成績を怒る私に、母が出した私の中学時代の「2」が並ぶ通知表と赤点だらけの成績表。息子がニヤニヤして反撃……。▼昔話にもりあがる中でびっくりしたことは、昔、「共産党には近づくな」と言っていた母が戦争法廃止を求める署名用紙を「みんな書いて」とテーブルに出したこと。兄の「戦争法って言うけど必要でしよう?」の一言に、父と私で大激論に。▼「平和」について家族、兄弟、友人などで、それぞれの考えを率直に話し合うことが出来る状況が生まれています。みんなで政治について、日本の未来について、大いに語り合いましょう!



開発計画に前のめり

連載<1>

3カ年計画に現われる開発計画

板橋区の今後3年間の実施計画（いたばしNo.1実現プラン2018）には、別表のとおり大山駅周辺地区、板橋駅周辺地区、上板橋駅南口駅前再開発、高島平グランドデザインの事業計画経費が記載されました。

上板橋駅南口の再開発は、2012年度に住民との合意が難しいことを理由に、計画の見直しを余儀なくされたものです。「災害に強いまちづくりを進める会」が区とともに検討し、新年度予算では、再開発事業経費が増額されています。

国の誘導に進む開発

JR板橋駅の駅ビルと区有地（B用地）の一体開発では、区有地に高層マンションを建設する計画です。駅エレベーター建設を理由に、今年4月には、JRと基本協定を結び、区とJRの協議が始まります。

区が次々と前のめりに進める再開発計画は、安倍政権の「国土のグランドデザイン2050」に合わせて、東京オリピックをテーマに東京大改造計画をすすめる流れに誘導されるものです。住民合意のないまま、必要性

に乏しく、莫大な税金投入と住環境破壊をもたらす計画を強引に進めようとしています。また、開発と一体になっっているのが「公共施設大再編」です。モデルとする高島平グランドデザインでも見られるように、公共施設を廃止・縮小・統合し、空地に民間デベロッパーによるタワーマンション建設などを行うものです。国の補助金とその誘導策になって

一方で、貧困と格差の対策や保育園待機児童問題、介護や医療の負担軽減、区内経済活性化には背を向け続けています。さらには、財政調整基金が目標の190億円に達したことをあげ、今後は、義務教育施設と公共施設整備基金に積み上げる姿勢です。開発優先の姿勢から、住民の暮らし福祉向上の区政へ転換すべきです。

次号は、上板橋南口再開発について掲載します。

別表 いたばし No1 実現プラン 2018 で示された 3カ年の事業計画

	2016年	2017年	2018年
大山駅周辺地区	2億 7000万円	19億 9200万円	33億 5600万円
板橋駅周辺地区	2100万円	1億 4500万円	9億 9600万円
高島平グランドデザイン	2500万円	2000万円	2000万円
上板橋駅南口駅前地区	3800万円	検討中	検討中

視覚障害者が安心して横断歩道を歩けるように

エスコートゾーンの設置を

警察庁は、平成19年に「エスコートゾーン」の設置に関する指針の制定について」を通告

しています。エスコートゾーンとは、視覚障害者が安全に横断歩道を歩けるように、歩行の手がかりとする突起物の列を設置するものです。

ですが、点字ブロックのようなものはありません。このエスコートゾーンの設置指針では、(1) 視覚障害者の利用頻度が高い

リテーションセンター、病院、障害者スポーツセンターなどの社会福祉施設。(2) 高齢者、障害者などの移動等の円滑化の促進に関する

区長は「必要な設置場所を確認し、警察署に要望していききたい」と答弁しました。



大田伸一 区議

横断歩道も「歩道」と名前がついていま

特別支援学校、リハビ

地区内の主要な生活関

と答弁しました。



九段下交差点のエスコートゾーン（横断歩道中央）

読者の声



読者から寄せられた感想・意見を紹介します。

日本共産党の生活・法律相談 気楽にお電話ください

日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋2-66-1 Tel 3579-2717



山内えり事務所
大山東町59-6
Tel 3962-0188



吉田豊明事務所
成増1-5-24
Tel 3975-5506



荒川なお事務所
かみいたセンター 常盤台4-35-4
Tel 3934-5016
坂下事務所 坂下1-26-11-101
Tel 3960-8530



いわい桐子事務所
高島平7-20-17-102
Tel 6904-0448



竹内愛事務所
高島平7-20-17-102
Tel 5997-0788
徳丸事務所 徳丸2-28-2
Tel 5920-4130



松崎いたる事務所
小茂根2-27-11
Tel 5965-1550



小林おとみ事務所
本町30-5
Tel 3962-7382



かなざき文子事務所
双葉町6-12
Tel 3961-9771



大田伸一事務所
前野町2-27-8
Tel 3558-7310

高齢者施設を増やしてほしい

(70歳 女性)

慣れ親しんだ所で終末期も過ごしたいと願っています。一番の不安は必要な時に入所できる施設が少ないことです。もっと施設を増やしてほしいです。

介護職員の処遇改善を

(60歳 女性)

母が介護3でいろいろな介護者の方々に世話になっていきます。一人の母を看るのも苦勞するので、介護の仕事の人が働きやすく、生活費も十分もらえるようになることを願います。

廃校跡地は有効活用を

(南常盤台在住 Kさん)

使われなくなった学校に認可保育園を作ってください。共働きの若い夫婦が安心して働けるように

心して働けるようにすれば、税金も増え、子育ても希望がもてます。

平和都市宣言をかかげる板橋区として

(四葉在住 Yさん)

戦後71年の今年は更に大切な年です。「板橋区平和都市宣言」は画期的なものです。昭和60年発効以降、具体的な取り組みについて知りたい。また、問題点について共産党の提案をお聞かせください。

区独自の給付型奨学金を

(男性)

昔は大学を卒業したら確実に正社員になれた時代でしたが、今は違います。現在の利子付き奨学金ではなく、給付型奨学金を板橋区としても作ってほしいと思います。

ご存知ですか？ 区内に無料バスが走っています

コミュニティバスではありません。板橋区には以前から、無料で利用できる「4館送迎バス」が走っています。このバスは、東武東上線ときわ台駅、教育科学館、エコポリスセンター、都営三田線西台駅、リサイクルプラザ、熱帯環境植物館を循環しています。区の4つの施設をめぐるために創設されたもので、東武東上線と都営三田線からもアクセスを可能にしています。かつては平日も運行していましたが、利用者が少ないため、現在は土曜日、日曜日、祝日、中学校の夏休み期間のみの運行となっています。

日本共産党は、このバスの運行を再編して、多くの区民が利用できるようにすべきだと要求しています。平日に

は区役所を経由すれば、いっそう区民の役にたちます。区立美術館などもコースに入れて、充実させることを提案しました。

